

「大学単位でワクチン接種」京都市が国に要請へ 学生の感染急増

社会 | 速報 | 京都

毎日新聞 | 2021/4/7 18:27(最終更新 4/7 19:30) 589文字



新型コロナウイルスのワクチン接種を大学単位で実施できるよう、国に要請する意向を明らかにした門川大作京都市長＝市役所で2021年4月7日午後2時23分、添島香苗撮影

京都市の門川大作市長は7日の記者会見で、新型コロナウイルスのワクチン接種を大学単位で実施できるよう、国に要請する意向を明らかにした。市内の大学でクラスター（感染者集団）が相次ぐなど、学生の感染が急増している状況を踏まえた。門川氏は「京都は大学の街だ。若い人がこれ程感染している中、大学が責任を持って接種を進めるのは意味がある」と述べた。

京都市は学生が約15万人と、人口の約1割を占めている。市によると、3月以降に市内3大学のサークルのコンパなどでクラスターが発生するなど、若者を中心に感染が拡大している。そのため市は4月2日、学生への感染予防策の徹底を指導するよう各大学に緊急要請をしている。

門川氏は、大学単位で学生への集団接種などができるようにしてほしいと、大学側から要望があったと説明。ただ、高齢者と比べて若者は接種の優先順位が低いことから「（接種は）ワクチンが十分に供給されてきた時の話だ」との認識を示した。住民票を移さないまま市内で暮らす学生や、府外から通う学生もいることから、これらの学生への対応も検討するという。

また5月以降に予定している、65歳以上の一般の高齢者約41万人の接種について、年齢の高い市民をより優先する考えを示した。門川氏は「重症化のリスクが高い、より高齢の方を優先するのが大事だ」と指摘。具体的に何歳以上とするかは検討中という。【添島香苗】

プレミアムプランに長期割引の新コースが登場！ ひと月あたり880円オフ 

[詳細はこちら](#)